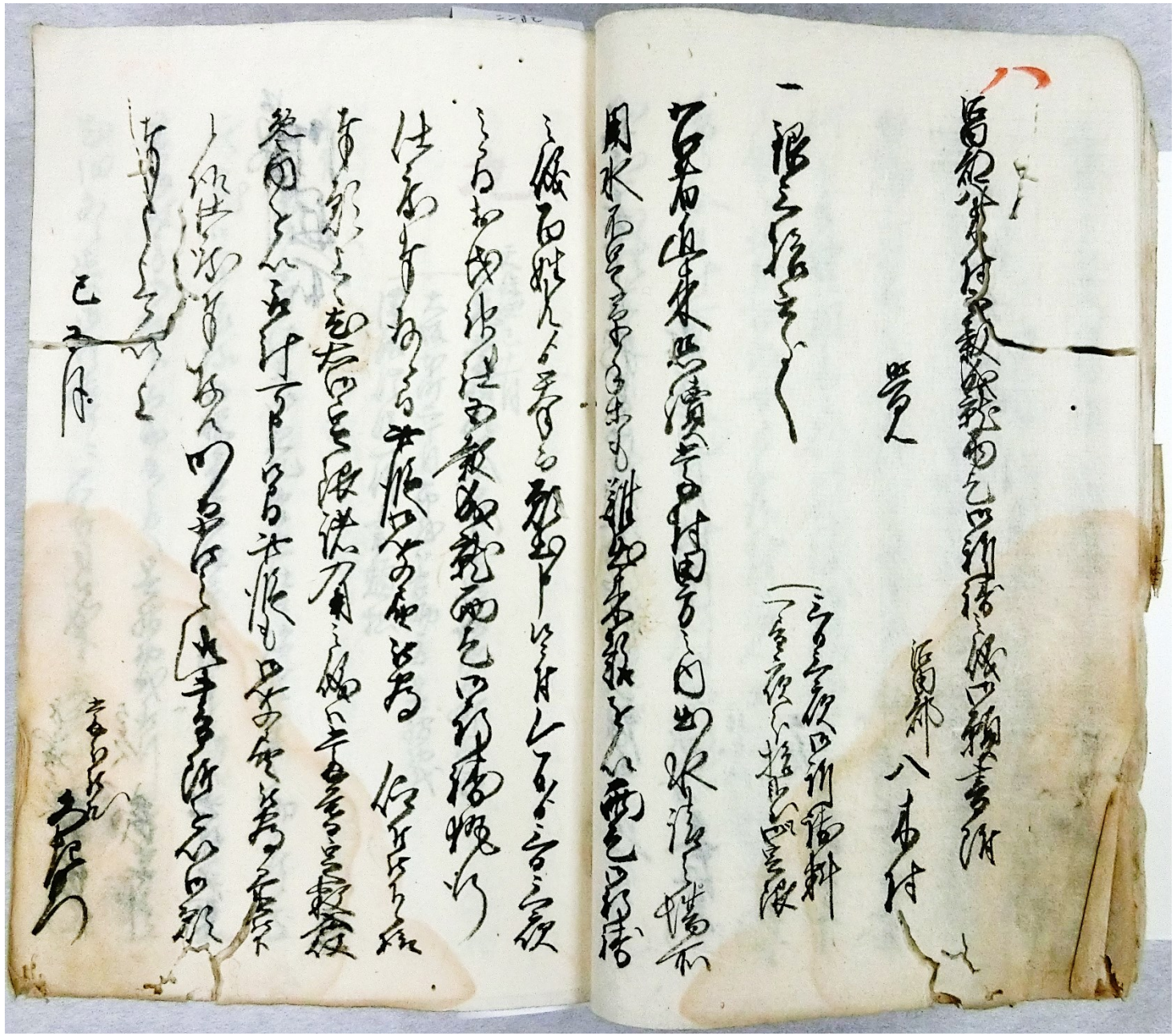

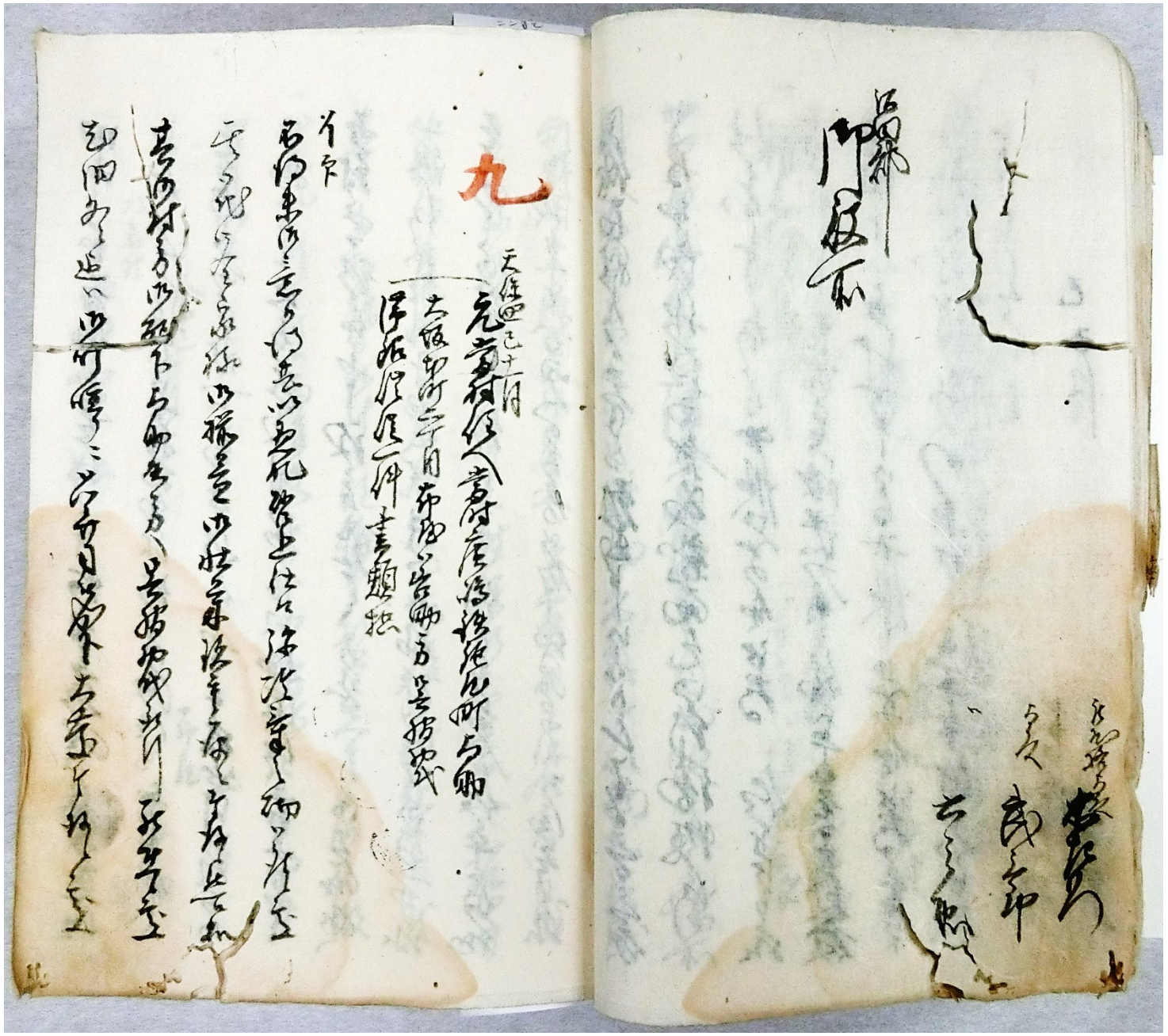

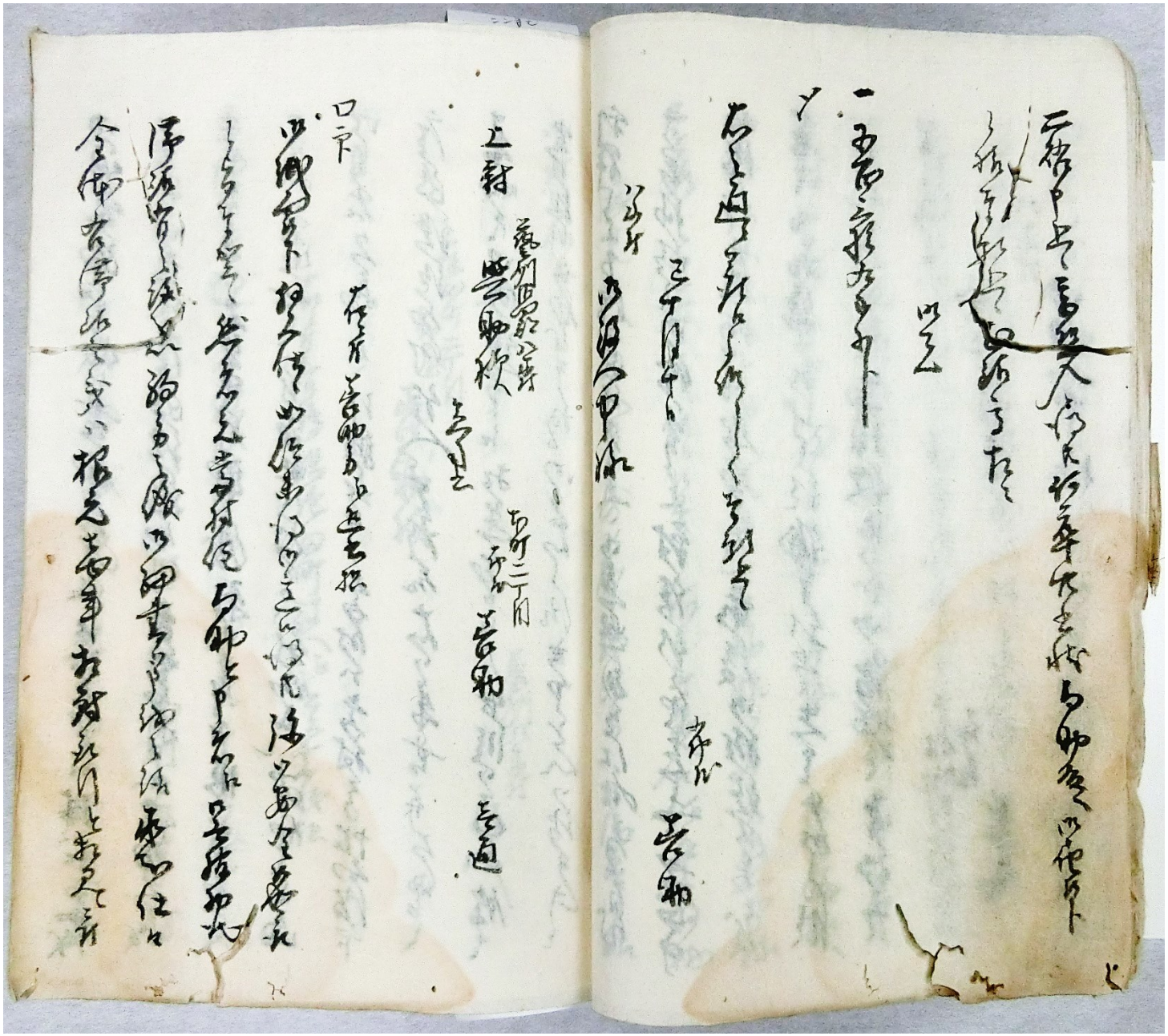

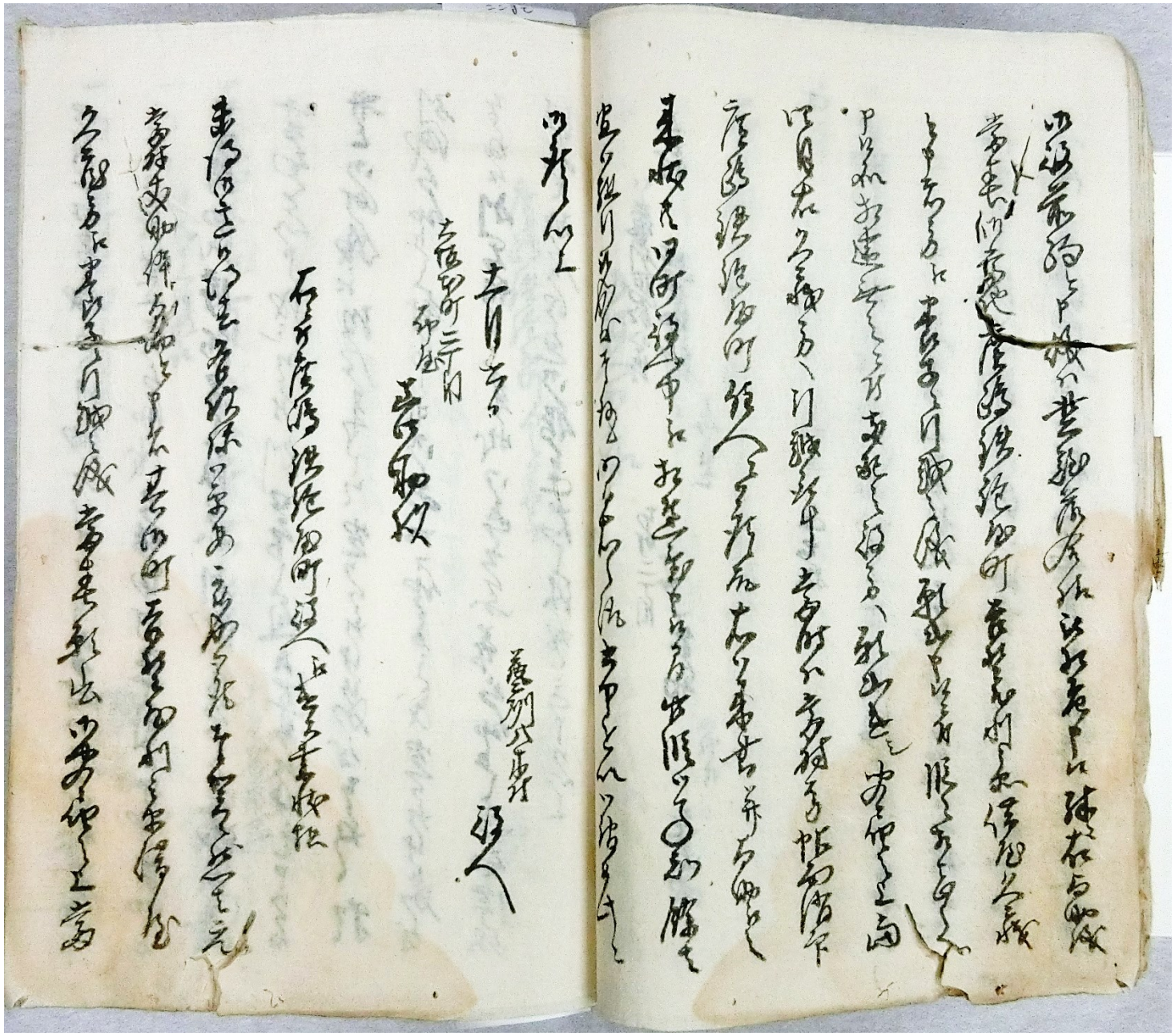

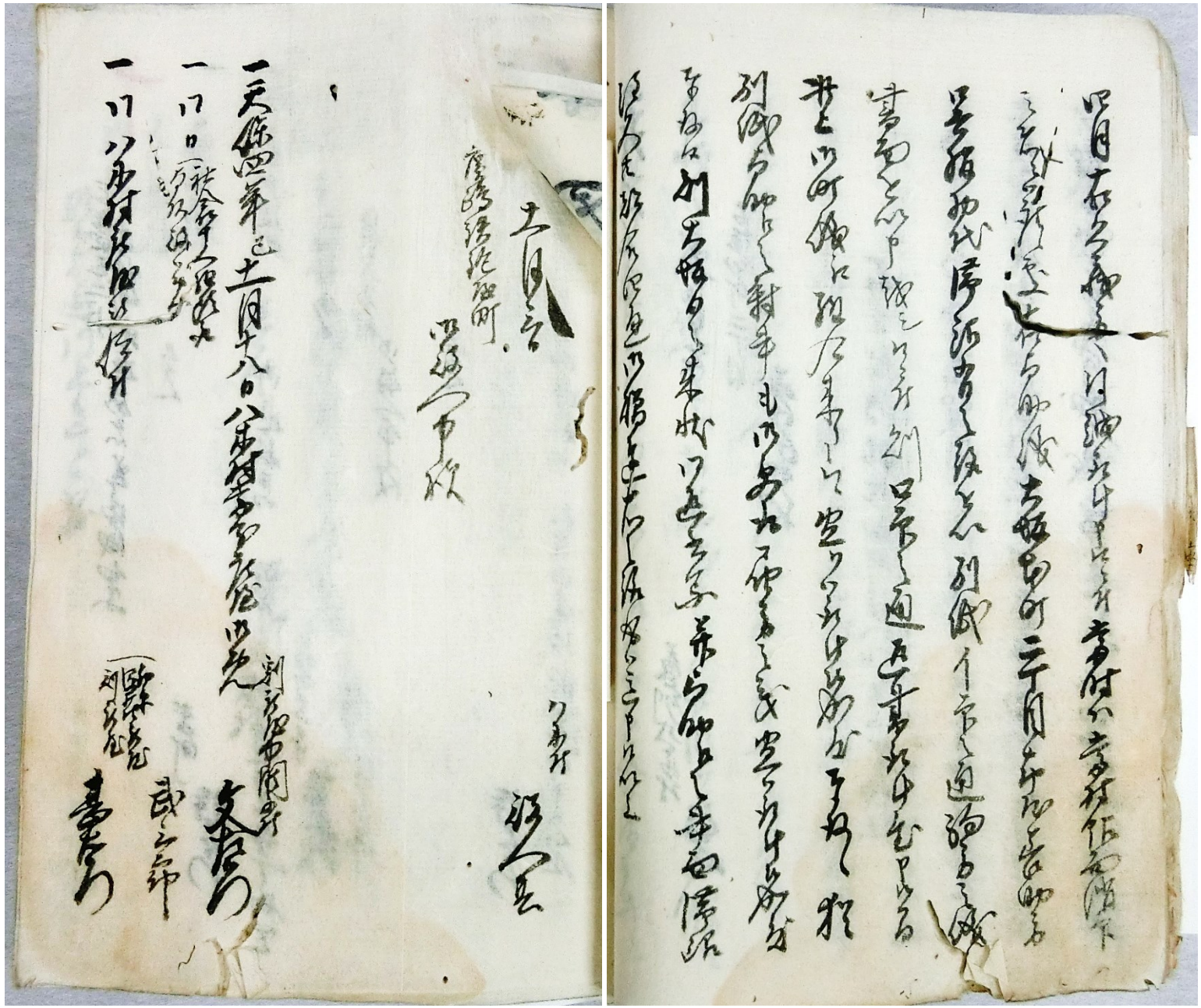

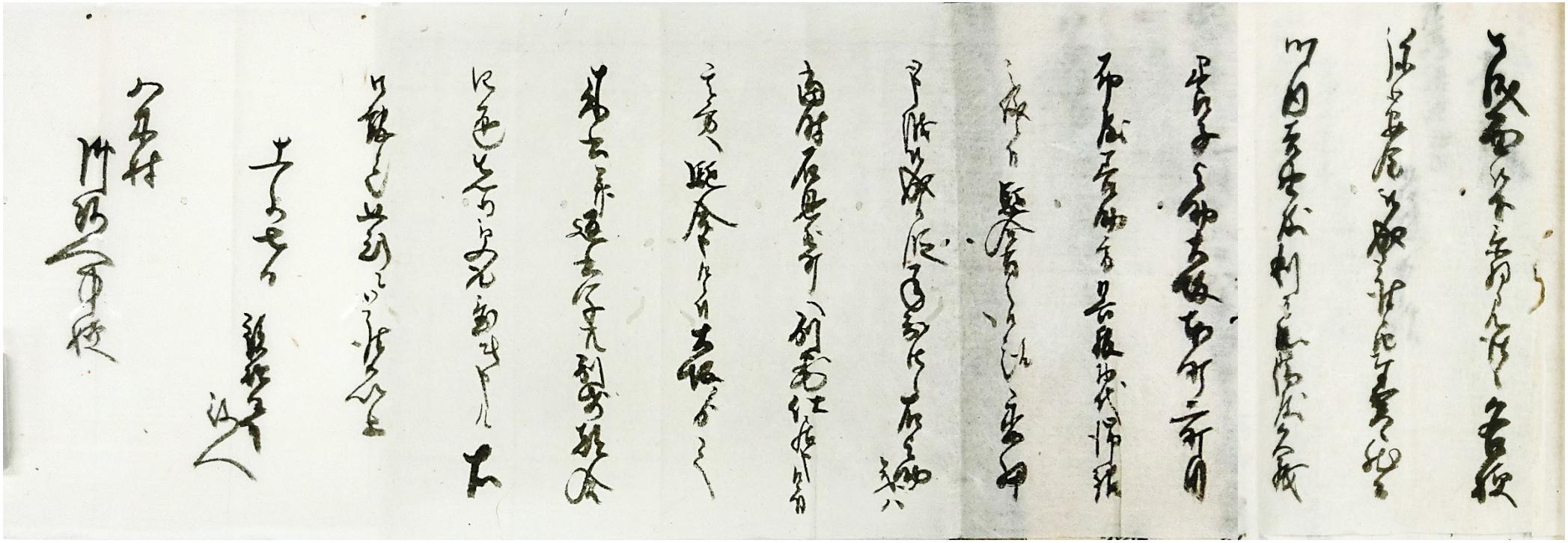

（付紙）

八

沼田郡八木村五穀成就・雨乞御祈祷之儀御願書附

覚

沼田郡
八木村

一銀三拾六匁　三日三夜御祈祷料
　　一昼夜分拾弐匁ツヽ御定銀

右者近来照続、当村田方之内出水請之場所
用水不足、草手等も難出来趣を以雨乞御祈祷
之儀百姓共ゟ挙而願出申候ニ付、今日ゟ三日三夜
之間於氏神社五穀成就・雨乞御祈祷執行
仕度奉存候間、此段御聞届被為仰付被下候様
奉願上候、尤右御定銀諸入用之儀ハ当暮定数入役
免之内を以取計可申候間、此段も御聞届被為置被下
候様仕度奉存候、仍而右之趣書附を以御願
奉申上候、以上

当分庄屋　文左衛門
庄屋格与頭　忠左衛門
与頭　武三郎
同　六兵衛

沼田郡
御役所

草手（くさて）草、雑草
挙而（こぞりて）すべて、すっかり、一人残らず
御定銀 村入用から支出を決めた経費

九

天保四巳十一月

元当村住人当時廣嶋鉄鉋屋町与助
大坂本町二丁目布屋善助方呉服物代
滞銀催促一件書類控

イ印

不得未御意候得共、以愚札啓上仕候、弥冷気之砌御座候処、
其御地御全家様御揃益御壮栄珍重御儀ニ奉存候、然ル処
其御村方御配下与助殿方へ呉服物代取引罷在候処、
尤旧冬迄ハ御丁寧ニ御算用被成下大慶奉存候処、
旧冬ニ至善助死去仕候ニ付、何角不都合ニ而当惑仕
罷居候、其後右呉服物代銀何之御沙汰も不被下、何分
遠路之所ニ御座候へハ万事行届不申、ヶ様延引相成候而ハ
下拙方も元方差支ニも相成、甚以難渋仕候、最早直々
相対ニ　行届不申、致方も無之、乍恐御公儀様へ

滞銀（とどこおりぎん）不良債権
愚札 自分の手紙をへりくだっていう語
全家 家族全部 家内中
算用 勘定 支払い 清算 決済
下拙 男性の第一人称の謙称 わたくし 拙者
元方 事業の資本

而
出訴仕候哉とも奉存候得共、貴君様始メ夫々御役人中様
遠路之御苦労ニ預り候事何共奉恐入候、何卒御役柄
之御威光を以当人御召寄被成下、代銀早々相渡呉候様
利解之上、下済御取計被下候へハ、御慈悲難有仕合奉存候、自然
貴君様情々（せいぜい）御仰被下候上、対談行届兼候へハ不得止事、
出訴仕候、此段何とも歎敷奉存候、前後御推覧被下度、
呉々も和済御取計之程偏（ひとえに）奉願上候、先者右之段
以愚札如此御座候、尚後便否哉御報必々奉待上候、
早々、以上

癸巳十月十日　布屋　善助

八木村
御役人中様

下済（げさい）内済のこと
和済 内済に同じ
二啓 追伸

二啓申上候、甚恐入候得共、何卒此書状与助殿へ御届被下
候様奉願上候、尤銀高左ニ

覚

一　五百三拾九匁五分

右之通ニ御座候、よろしく奉願上候

巳十月十日　布屋　善助

八木村
御役人中様

芸州沼田郡八木村　本町二丁目
上封　助様　善助　布屋　壱通

急用書

右ニ付善助方江返書控

ロ印
御紙面被下拝見仕候、如仰未得御意候得共、弥御安全被成御座
候旨奉賀候、然者元当村住与助と申者江呉服物代
滞銀有之趣を以、約方之儀御細書御申越之趣承知仕候、
全体右滞銀之義ハ根元商事相対取引と相見候ニ付、
御役前約と申儀ハ些難落合様被相考申候、殊ニ右与助儀
当春御当地廣嶋鉄鉋屋町吉野屋利兵衛借家久蔵
と申者方江養子ニ引越之儀願出申候ニ付、段々相しらへ

申候処相違無之ニ付、支配之役方へ願書遣シ、聞届之上、当
四月右久蔵方へ引越取計、当時ハ当村方帖面消印、
廣嶋鉄鉋屋町住人ニ御座候故、右御来書并与助江之
来状共同町役人中江相達置申候間、此段御承知、余者
宜御駆引被成度奉存候、仍而右之趣書中を以御報如此ニ
御座候、以上

芸州八木村
役　人

十一月六日

大坂本町二丁目
布屋
善助様

右ニ付廣嶋鉄鉋屋町役人江遣ス書状控

未得御意候得共、各様弥御平安可被成御座奉賀候、然者元
当村丈助倅与助と申者其御町吉野屋利兵衛借家
久蔵方江養子ニ引越之儀当春願出、御聞届之上、当
四月右久蔵方へ引越取計申候ニ付、当時ハ当村帖面消印
之者ニ御座候処、右与助儀大坂本町二丁目布屋善助方
呉服物代滞銀有之趣を以、別紙イ印之通約方之儀
書面を以申越シ候ニ付、則ロ印之通返書取計置申候間、
此上御町儀江駆合来り候ハヽ、宜ク御取計被成度奉存候、猶
別紙与助江之封書も御受取、届方之義宜御取計被成度
奉存候、則大坂ゟ之来状御返書写并与助江之書面滞銀
注文共都合四通御贈達、右之趣得御意申候、以上

八木村
役人共

十一月三日

廣嶋鉄砲屋町
御役人中様

＊（付書）

一天保四年巳十一月十八日八木村当分庄屋御免　割庄屋中調子村　文左衛門

一同日　社倉十人組頭取　与頭役御免　武三郎

一同　八木村庄屋被仰付　西原　温井村　庄屋　割庄屋　甚右衛門

鉄砲屋町［現］中区袋町・本通 中町の東に続く横町で、東は平田屋川が流れる。北は平田屋町

大坂本町 現大阪市東区。二丁目は浄瑠璃「糸桜本町育」（小糸・佐七）の舞台

＊（付書）

廣嶋鉄砲屋町ゟ之来書

御紙面被下忝拝見仕候、各様
弥御安全被成御座候由奉賀候、然而
町内吉野屋利兵衛借屋久蔵
養子与助大坂本町二町目
布屋善助方呉服物代滞銀
之儀ニ付駆合有之候趣委細
御申越被成候段承知仕候、右与助義ハ
当時石見屋町へ別宅仕居申候ニ付、
其方へ駆合申候ニ付、大坂ゟ之
来書并返書写共別紙都合
四通先ツ受取置キ申候、右
御報迄如斯御座候、以上

鉄砲屋町
役　人

十一月七日
八木村
御役人中様